



春里中学校

学校だより 令和7年度 3月号

TEL: 048-683-3458

FAX: 048-683-8979

学校教育目標
自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

もうぼだんき 「孟母断機の教え」

校長 うえ だ やす まさ
上 田 泰 正

校庭の木々も芽吹き始め、春の足音が聞こえはじめる季節になりました。

1年生は、上野・浅草校外学習を行い、班別行動等を学びました。2年生は、自然の教室を終え、学年集団としての行動力が高まりました。3年生は、卒業まであと2週間余りとなりました。3年間学んできた春里中学校での思い出を胸に、それぞれの夢や希望に向かって旅立ってください。すばらしい卒業式になることを期待しています。

さて、「孟母断機の教え」(※孟母…孟子の母親のこと)という故事があります。これは、**勉学に身が入らない孟子(中国の大変有名な学者)が、久しぶりに家に帰ってきたところ、母は機織をしながら、「勉強の進み具合はどうですか？」と尋ねた。「べつに、相変わらずですよ」と、孟子は気のない返事をしたところ、母は、突然刀を持ち出してきて、織っていた布をバツサリ切ってしまった。(機織は孟子の一家にとっての収入を得るための手段であり、これを止めることは、生活していけなくなることを意味します。)**そして、孟子に向かって、「いいですか、もし途中で勉強をやめるような事があれば、今こうして、織りかけの布を切ってしまったように、今までの努力がまったく無駄になってしまうのです。」と言った。

この出来事は、孟子の心に深く、そして鮮明に焼きついた。これ以降、孟子は本気で勉学に励むようになり、遂には天下の名高い学者(儒者)となった。という内容です。

この孟母の言動ですが、孟母が親として子育てに真剣に向き合い、子どもに恥じない生き方をしていたからこそ、説得力がありました。また、孟子も、母親の愛情を感じとることができたからこそ、母親の言葉を素直に受け取ることができたのではないかと考えます。

私はこの故事から、「親・教師は、子どもに恥じない生き方をするとともに深い愛情を注ぎ、子どもは、親・教師に甘えず、すべきことに一生懸命に取り組む。」という親子関係・師弟関係の在り方を学びました。

最後に、保護者・地域の皆様方には、今年度も学校の様々な教育活動に御支援と御協力をいただき誠にありがとうございました。